

NUFS Workshop 2017 (特別講座)

Newsletter

小学校英語のワークショップ

日時:2017年8月9日 10:00-12:00, 13:15-15:15

場所:名古屋外国語大学 322 教室

講師:矢後智子(名古屋外国語大学外国語学部英語教育学科講師)

タイトル:“タスクを使った英語授業:聞く・話すから読む・書く活動へ”

スケジュール:

10:00-12:00

新学習指導要領にある「外国語活動(3・4年)」と「外国語科(5年・6年)」の目標及び学習内容の概要の説明。コミュニケーション活動を含んだlistening, speaking活動の模擬授業

13:15-15:15

Listening, speakingからreading, writingへ発展させた活動の模擬授業。質疑応答



参加人数:12

<Reflection Log>

(1) ワークショップで学んだことの中で、使えそうなアイデアを書いてください。

- ★ アルファベットカードを使ってアルファベットを一文字ずつ選ばせて、最終的に英単語になる activity は「書く」活動につながると思いましたので、やってみたいです。
- ★ かるたのようにとっていき活動より指をさす活動の方が苦手な子も含めて全員参加できてよかったです。
- ★ 皆で楽しめる歌やチャンツ、アクティビティをたくさん学べて良かったです。
- ★ アルファベットの読み方・書き方の導入方法や歌などのアイデアを教えてもらったことが勉強になった。
- ★ 同じピクチャーを使って色々な活動を行うのが面白く、力もつきそうだと感じました。

(2) ワークショップの感想を書いてください。

- ★ 丸々4時間分、授業を見ることができたことがすごく有難かったです。実際のゲームや指示の出し方など、勉強になりました。
- ★ 授業ですぐに使える活動や新学習指導要領のポイントなど、多岐に渡ってご指導くださって、勉強になりました。



- ★ 身体を動かしたり、リズムに合わせてしゃべったりして楽しく体験できました。短時間でおこなえる活動でしたので、子どもでも最後まで飽きずに参加できると思いました。
- ★ 今日のワークショップでは先生がほとんど英語で授業をされているけれど、これから担任がすすめようと思ったらそれは不可能です。英語が話せる方はいいけれど、不安に感じている先生方が「私にもできそうだ」と思えるようなアイデアや方法を知る機会があってほしいと願っています。



(3) 小学校の英語教育に関して、困っていることはどんな点ですか？

- ★ 自分があまり英語を話せないのに、本当に教えるのか？と不安になります。ALT はいつまでもいないと思うし、3-4年の英語はどうなるのかと不安でいっぱいです。
- ★ 自分が英語が苦手なので、積極的に外国語を話す態度を児童に見せられないことです。英語がぱっと出てきません。
- ★ 英語の発音がわからないです。自信を持ってしゃべれないです。
- ★ 子どもたちはローマ字を習うので、アルファベットは書けますが読みで弊害になる時があるので、どうしたら良いのかわかりません。
- ★ 学校によって温度差があり、コミュニケーション活動と位置づけてはあるが、ある程度の正しい発音を学んでいく機会を自分で見つけていくしかないところ。

(4) 小学校の英語教育に関する問題点について、どのように対処していますか？共有・解決のための勉強会、ワークショップなどがありますか？

- ★ 名古屋市国際理解教育同好会に所属し、相談等をしています。
- ★ 特に何も無い。
- ★ 勉強解答は特になく、みなさん不安を感じておられるようです。
- ★ 今は外国人アシスタントに頼って、みんな何もしていない状態だと思います。危機感がない感じです。いざアシスタントなし、と言われたらものすごく困ると思います。教員全員がしっかり勉強してそれから教えたいのですが、準備不足だと感じます。



(5) 質問・コメントなど

- ★ このような口座に中学校の先生も参加して、学校でどんなことをやってきたのかを学ぶ機会もあるといいなと思いました。
- ★ 小学校で楽しく学んだ子どもたちが中学校でも楽しく英語を学べるように小中でうまく連携できるいいと思います。
- ★ 他の授業時数との関係もあり、週2で英語の授業をやらなければならない。だからモジュールでというのは少し無理がらと思います。
- ★ 具体的な指導方法、アイデア、指導案、板書方法など、たくさん見てみたいです。本日のような勉強会が定期的にあるといいなと感じます。

<Q and A>

- 1) 実際の授業をたくさん見れて、本当に良かったです。それぞれどういう点に気をつけて活動内容を考えているのか知りたいです。／それぞれのアクティビティが何年生あたりが対応なのかを知りたかったです。

聞く活動から話す活動へ活動が展開しています。話す活動は単純に目標表現を繰り返したりする活動(できなくても練習で I can play the piano という活動)から、自分のことを表現する活動に展開します。

ある程度児童が音に慣れ親しんだ後、読む活動、書く活動を行います。

1時間の授業の中でも、様々な種類、形態で行うが活動を計画し、様々な能力の児童が活躍できる場面を作るように考えます。

今回の単元の対象学年は6年生です。3年生から外国語活動の経験がある児童であれば、5年生で行うことのできる単元です。1、2時限目で行った音に慣れ親しむための活動であれば3年生でも楽しく活動することができます。



- 2) 新学習指導要領の通りにできるか不安があります。単純に考えると、3・4年生で外国語に親しむために activity をさせて、5・6年で「書く」を加える、ととらえていいのでしょうか？中学校につなげるために、小学校ではどこまでできればいいのでしょうか？

今までの5,6年生の外国語活動の目標が今後の3,4年生の目標になるので、「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語に慣れ親しむ活動を楽しんで、コミュニケーションの素地(聞きたいなあ、伝えたいなあという気持ち)を育てることになります。

5,6年生では、それに加えて「読むこと」「書くこと」が学習内容に加わります。外国語学習において「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能の習得は切り離すことはできません。しかしながら、日本の児童にとってアルファベット文字を読んだり書いたりすることは簡単なことではありません。「読むこと」「書くこと」に慣れ親しみ積極的に英語を読もうとしたり書こうとする態度の育成が、まず大切と考えてください。

- 3) 絵本の読み聞かせで子供たちが英語に親しめれたら良いなと思いました。小学校低学年の子が楽しめるような本が知りたいです。また英語が苦手な教員でも読めそうなおすすめの本はありますか？

「Ten fat sausages」(読み聞かせの後、チャンツを行うことができます)

「Five little monkeys jumping on the bed」(読み聞かせの後、チャンツを行うことができます)

「Brown bear brown bear what do you see?」(繰り返しの表現をリズムよく読むことができる絵本です)

小学校低学年の場合、児童の言語レベルに合わせて絵本を選んでも、内容も適切であることが多く、どんな絵本でも楽しむことができると思います。(高学年の場合、言語レベルに合わせて絵本を選ぶと、内容が幼稚なものになってしまう場合がある)

どんな絵本を、どのように読み聞かせをしたらよいかなどの詳細についてはお問い合わせください。



4) 宿題として単語を覚えさせることはしていいと思われませんか？

単語を音で認識すること(聞いて分かる、言える)は、小学校の授業の中で行われます。単語を文字で認識すること(読むこと、書くこと)の特に「書くこと」については、新学習指導要領では「書き写す」「例文を参考に」と表現されているので、単語や語句を覚えさせる必要はありません。しかしながら、児童が楽しく、一人でできる、または親とコミュニケーションをとりながらできる(日本語でも OK)であれば、家庭で行う学習もあってもよいのでは、と思います。



5) play the piano 等 words を pictures とマッチングさせるアクティビティでは words が読めることが前提になっていた。そこにいたるプロセスが知りたかった。

児童は2時限目まで絵と単語を一緒に目にしています。(意識はしていないかもしれないが) 3時限目にその絵と単語を切り離した時に、児童は自分の知っている知識を色々使って、単語の読み方を考えます。「kendama がついているから、これは play kendama だ。じゃあもう1つの方が play the piano だな」、もしくは「p は[p]という音だから play だな。じゃあ kendama の方が play kendama だ」のように考えているかもしれません。他の単語についても同じです。「miso soup がついているから、これは make miso soup だな」とか「ski と swim の短いほうが ski だったな」、「da はダンスだ」、「ホラホープが hula hoop だ」など、自分の知識から、その単語の読み方を考えます。(トップダウンの考え方) 一方ではそれぞれのアルファベットの音を学ぶことで単語を読むことができるようになります。(ボトムダウンの考え方) 日本語の習得と同じですね。



I can play the piano!

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。 ・積極的に友だちにできることを尋ねたり、自分のできること・できないことを答えたりしようとする。 ・できること・できないことについて、例を参考に語句や文を書くことができる。
単元評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりしている。 ・できること・できないことを尋ねたり答えたりしている。 ・できること・できないことを積極的に尋ねたり答えたりしている。 ・動作を表す語が単語で理解できる。 ・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を、例を参考に書き写すことができる。
語彙・表現	<p>I can/can't～. Can you～? Yes, I can./No, I can't. play the piano, play kendama, make miso soup, ride a unicycle, eat natto, swim, dance, ski, hula hoop</p>

第6学年 I can ride a unicycle! 1/4時間

目標：動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。

できるかどうか尋ねたり答えたりする表現を知る。

準備：教師用絵カード(動作)、CD、児童用絵カード(動作)(ペア数分)、ジングルカード

児童の活動	教師の活動	準備物
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 	
○新しい表現の導入 ・指導者の「できること」「できないこと」の紹介を聞く。 ・様々な動作の表現を知る。 ・指導者の質問に Yes/No で答える。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用絵カードを見せながら、「できること」「できないこと」を紹介する。 ・表情やジェスチャーを付けて言うことで can と can't の違いに気付かせる。 ・動作表現を紹介しながら、児童にもできるかどうかを尋ねる。 	教師用絵カード
○ポインティングゲーム ・指導者が言う動作の絵カードをさし示す。(ペア活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童をペアにする。 ・デモンストレーションを見せる。 ・最初は動作表現で、その後 I can～. を使って言う。 ・児童が絵カードを指差した後、答の絵カードを示す。 	教師用絵カード 児童用絵カード
○キーワードゲーム ・指導者の言う表現を聞き、キーワードの時に消しゴムをとる。(ペア活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童をペアにする。 ・デモンストレーションを見せる。 ・I can～. I can't～の両方を使ってゲームを進める。 	教師用絵カード
○ジェスチャーゲーム ・指導者や代表児童のジェスチャーを観てなんの動作か言い当てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・動作のジェスチャーをして何の動作か考えさせる。 ・児童が何のジェスチャーか当てた後に、その動作についてできるかどうか尋ねる。 ・慣れてきたら代表児童を出題者にする。 	教師用絵カード
○チャンツ “I can play the piano” ・教師用絵カードを見ながら指導者の後についてチャンツする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用絵カードを見ながらチャンツを聞かせる。 ・指導者の後についてチャンツする。 	CD
◇Alphabet Jingle ・指導者の後についてジングルする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジングルカードを見ながらジングルを聞く。 ・指導者の後についてジングルする。 	ジングルカード
振り返り 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	

第6学年 I can ride a unicycle! 2/4時間

目標：動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。

できること・できないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準備：教師用絵カード(動作)、CD、児童用絵カード、アルファベットカード

児童の活動	教師の活動	準備物
挨拶	全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○チャンツ “I can play the piano” ・絵カードを見ながら指導者の後についてチャンツを言う。	・教師用絵カードを見せながらチャンツを聞かせる。 ・指導者の後についてチャンツを言わせる。ジェスチャーも付けるように言う。	CD
○ポインティングゲーム ・指導者が言う表現の絵カードをさし示す。(ペア活動)	・児童をペアにする ・デモンストレーションを見せる。 ・I can～.I can't～.を使って言う。I can～の時は右手、I can't～.は左手で指差すように言う。 ・児童が絵カードを指差した後、答の絵カードを示す。	教師用絵カード 児童用絵カード
○〇×クイズ ・指導者が「できる」か「できない」かを考え〇×の場所へ移動する。	・代表児童と一緒にデモンストレーションを見せる。(黒板に〇×を書いておく) ・児童を座席から立たせて活動を行う。 ・児童が〇×の場所に移動したら、全員で Can you～? と指導者に尋ねさせる。	教師用絵カード
○True or False クイズ ・指導者や代表児童の「できる」「できない」を聞いて正しいか間違っているかを考える。	・デモンストレーションを見せる。 ・指導者の I can～. I can't～を聞き、正しいと思う時は True、間違っていると思う時は False とジェスチャー付きで言うように伝える。 ・慣れてきたら代表児童を出題者にする。	教師用絵カード
○Touch and Go ・2グループに分かれ、活動を行う。(グループ対抗)	・児童をグループに分ける。 ・デモンストレーションを見せる。	教師用絵カード
<p>①カードを一行に並べた両端にチーム毎に並ぶ。 ②カードをタッチしながらその表現を言って進む。 ③2チームの児童が出あった所でじゃんけんをして、勝ったチームはそのまま進む。負けたチームは次の児童が最初から始める。</p>		
	・自分が「できること」は I can～.で、「できないこと」は I can't～.で表現すること伝える。 ・ゲームの勝ち負けでなく、きちんと英語を言うことが大切であることを確認する。	
◇聞いて並べよう ・指導者の言ったアルファベットを探し並べる。(グループ活動)	・最初に大文字、小文字のカードに分けさせる。 ・大文字カードをアルファベット順に並べさせる。(小文字も同様) ・小文字カードから、指導者の言ったアルファベットを探し並べるように伝える。	アルファベットカード
振り返り 挨拶	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	

第6学年 I can ride a unicycle! 3/4時間

目標：できること・できないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

動作を表す語を、例を参考に書き写すことができる。

準備：教師用絵カード(動作)、CD、単語カード(動作)、児童用絵カード、アルファベットワークシート

児童の活動	教師の活動	準備物
挨拶	全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○チャンツ“Can you ride a unicycle?” ・絵カードを見ながらチャンツを聞く。 その後チャンツを言う。	・絵カードを見ながらチャンツを聞かせる。 ・指導者と一緒にジェスチャー付きでチャンツを言わせる。	CD (Hi friends より)
○Touch and Go ・ 2グループに分かれ、活動を行う。 (グループ対抗)	①カードを一行に並べた両端にチーム毎に並ぶ。 ②カードをタッチしながら、ペアで Can you ~? Yes, I can./No, I can't. と会話をしながら進む。 ③2チームの児童が出あった所でじゃんけんをして、勝ったチームはそのまま進む。負けたチームは次の児童が最初から始める。	教師用絵カード
○Walking Bingo <準備> ・絵カードと単語カードを合わせる。 ・ビンゴシートに動作の表現を書き写す。 ・自分のできることに印をつける。 <ビンゴゲーム中> 友だちにできること・できないことを尋ね、自分と同じ答えの児童からサインをもらう。	・グループ隊形のまま活動を始める。 ・絵カードで動作の表現を確認する。 ・単語カードを提示し何と読むのか確認し、その後絵カードとマッチさせる。 ・ビンゴシートに動作の表現を書き写すように言う。 ・書き写す活動はグループ内で助けあうように言う。 ・自分のできることに印をつけさせる。 ・代表児童とゲームのデモンストレーションを見せる。 ・指導者も児童と一緒にゲームに参加する。	教師用絵カード 単語カード ビンゴワークシート
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <答えが異なる時> (児童 1,2)Hello. (児童 1)Can you swim? (児童 2)No, I can't. (児童 1,2)Bye </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <答えが同じ時> (児童 1,2)Hello. (児童 1)Can you swim? (児童 2)Yes, I can. (児童 1)Sign, please. (児童 2)Ok. Here you are. (児童 1,2)Bye. </div>	
◇聞いて書いてみよう ・指導者が言ったアルファベットをワークシートから探しなぞって書く。	・アルファベットを全員で言う。 ・指導者が言ったアルファベットをさし示すように言う。 ・空中でアルファベットを書き、書き順を全員で確認する。 ・ワークシートのアルファベットをなぞるように言う。	アルファベットワークシート (Hi friends plus より)
振り返り 挨拶	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	

第6学年 I can ride a unicycle! 4/4時間

目標：積極的にできること・できないことを尋ねたり答えたりすることができる。

また、できること・できないことについて、例を参考に語句や文を書くことができる。

準備：教師用絵カード(動作)、CD、活動用ワークシート、はさみ、ドットステッカー、ジングルカード

児童の活動	教師の活動	準備物
挨拶	全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○チャンツ“Can you ride a unicycle?” ・絵カードを見ながらチャンツを言う。 ・質問のグループと答えのグループに分かれてチャンツを言う。	・絵カードを見せながらチャンツを聞かせる。 ・指導者と一緒にジェスチャー付きでチャンツを言うように言う。 ・質問グループ、答えグループに分かれ会話でチャンツする。	CD (Hi friends より)
○Let's find your friend's Robot! <準備> ・ワークシートに自分のロボットの絵とロボットができること・できないことを書く。 <活動中> ・自分の持っているロボットカードが誰のものかを、できること・できないことを尋ねながら探す。	・自分ができないこともできるロボットを想像させ、ワークシートの準備をする。 ・追加したい新しい動作表現を児童に尋ねる。 ・児童にワークシートの準備をさせる。 ・児童のワークシートを半分に切り回収する。 ・活動のデモンストレーションを見せる。 ・児童にワークシートの半分(誰のロボットかな?の部分)を配る。 ・児童と一緒に活動する。	提示用ロボット絵カード 活動用ワークシート はさみ ドットステッカー
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(児童 1,2) Hello. (児童 1) Can you swim? ↓ (児童 2)Yes I can. (児童 2)No, I can't./I don't know. (児童 1)質問を続ける (児童 1)Thank you. (児童 1,2) Bye</p> </div>		
◇Alphabet Jingle ・指導者の後についてジングルする。	・ジングルカードを見ながらジングルを聞く。 ・指導者の後についてジングルする。	ジングルカード
振り返り 挨拶	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	

☆天気之歌

“The Sun is Shining”

from “Children's Jazz Chants Old and New” Carolyn Graham (2002) Oxford University Press

Walking BINGO

自分と答えが同じ友だちからサインをもらおう！！



Can you . . . ?



Yes, I can. =○

No, I can't. =×

<p>Can you _____ ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>	<p>Can you _____ kendama ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>	<p>Can you _____ the piano ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>
<p>Can you _____ ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>	<p>Can you _____ ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>	<p>Can you _____ natto ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>
<p>Can you _____ ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>	<p>Can you _____ miso soup ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>	<p>Can you _____ a unicycle ?</p>  <p>Your friend's name ↓</p>

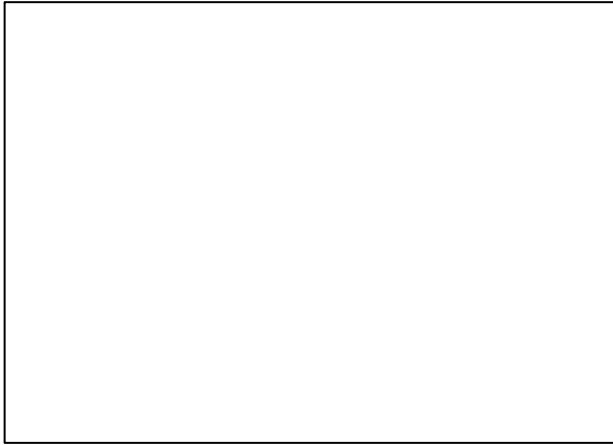
Class :

NO:

NAME:

Let's find your friend's ROBOT!

I am 's ROBOT!



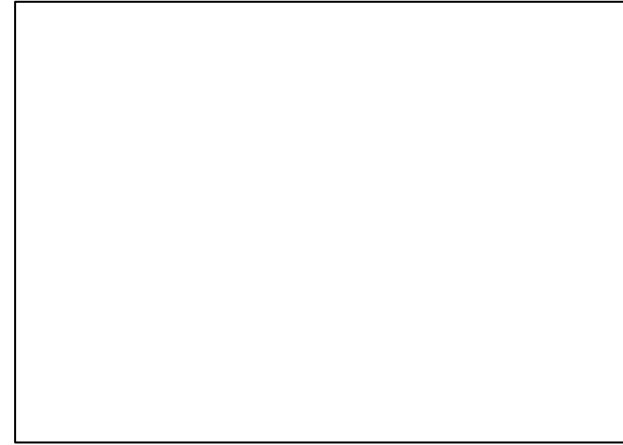
I can

I can't

.....

.....

Whose ROBOT am I? 私が誰のロボットか見つけてね!



I can

I can't

.....

.....

Word Box

play the piano, play kendama, make miso soup, eat natto,
ride a unicycle, swim, ski, dance, hula hoop



Can you . . . ?



Yes, I can. = ○

No, I can't. = ✕

I don't know. = ?